

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	スポーツ講習会・大会開催事業			会計	款	項目	大事	小事	
				01	10	06	02	01	04
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	スポーツ振興課				
施策	3-5	スポーツ活動の基盤づくり		主管課長	寺門 宏晋				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	小学生から高齢者までの競技スポーツ愛好者	意図	運動やスポーツの技術やレベルの向上。 運動やスポーツを通じた活動や交流の場を増やす。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県民体育大会の派遣事業の補助及び手軽に出来る軽スポーツ大会への参加促進。 ・ 流山ロードレース大会を業務委託により実施する。 ・ 平成21年度から少年スポーツ指導者講習会を開催。 			
事業開始から現在までの状況変化	運動する機会を増やすとともに、チャレンジと競技力を向上させるために開催し、講習会については、その都度色々な種目に変更してきた。 大会については、参加者人数も安定し、定番化しているので今後も継続していく。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	講習会参加人数（少年スポーツ指導者講習会他）	239	150	258	人	↑↑↑
②	大会参加人数	5,344	10,264	10,767	人	↑↑↑	
③							
④							
⑤							
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		8,238,970	10,756,376	13,419,402			
事業費(b)(円)		6,454,070	9,011,256	11,705,482			
うち一般財源		6,454,070	9,011,256	11,705,482			
職員給与費(c)(円)		1,784,900	1,745,120	1,713,920			
人役・職員(人)		0.26	0.26	0.26			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	年々規模が大きくなり、市のビッグイベントとして市内外の参加者から定着している流山ロードレース大会の人員確保と予算規模の拡大を図る。	③取組における課題(Check)	流山ロードレース大会の参加者数増加に伴い、運営委託業者及び市の負担が過大になっている。
②H30に実施した取組(Do)	市教育委員会、大会実行委員会による流山ロードレース大会協賛団体の新規発掘	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	他の運営委託業者により流山ロードレース大会の実施が可能か、検討する。